

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：山本・奈良井]

TEL：0853-22-6904

FAX：0853-24-3342

平成 30 年度 病害虫発生予察情報 技術資料第 2 号

平成 30 年 9 月 6 日

島根県病害虫防除所

ダイズ及びアブラナ科野菜等におけるハスモンヨトウの発生状況について

現在、ダイズ及びキャベツにおけるハスモンヨトウの発生は、発生ほ場率、寄生株率とも平年と比べて高く推移しています。現地では、ほ場において発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など適切な防除対策をお願いします。

記

1. 現在の発生状況

- 1) 8月下旬のダイズでの巡回調査における本種幼虫による1a当たりの白変か所数は0.8か所(平年0.4か所)、発生ほ場率は40%(平年21.5%)と平年と比べてやや多い。
- 2) 8月下旬のキャベツでの巡回調査における発生ほ場率は23.1%(平年8.5%)、寄生株率は2.0%(平年1.0%)と平年と比べてやや多い。
- 3) 8月6半旬までの累積誘殺数は県東部で438頭(平年645.5頭)、県西部で617頭(平年993.3頭)と平年と比べてやや少ない(第1図、第2図)。
- 4) 向こう1ヶ月の気象(8月30日広島地方気象台発表)は、ハスモンヨトウの発生についてやや抑制的である。

2. 耕種法による防除

表皮だけ残した白変葉(ダイズ)や卵塊が確認された場合は、すみやかに葉ごと切り取りほ場の外へ持ち出して処分する。



ダイズの白変葉

幼虫

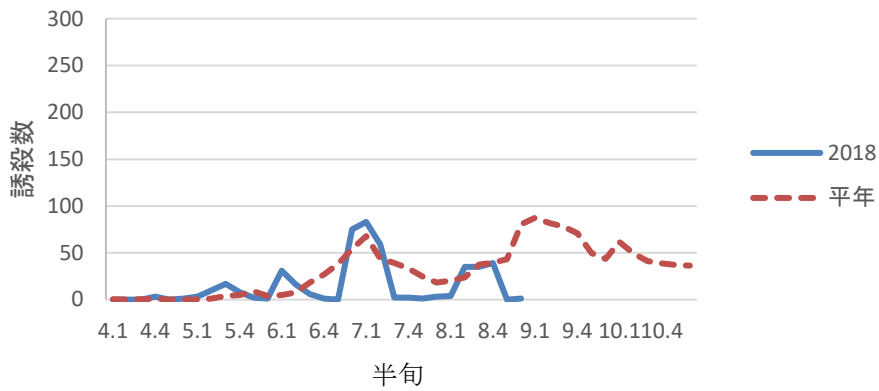
卵塊

3. 薬剤防除

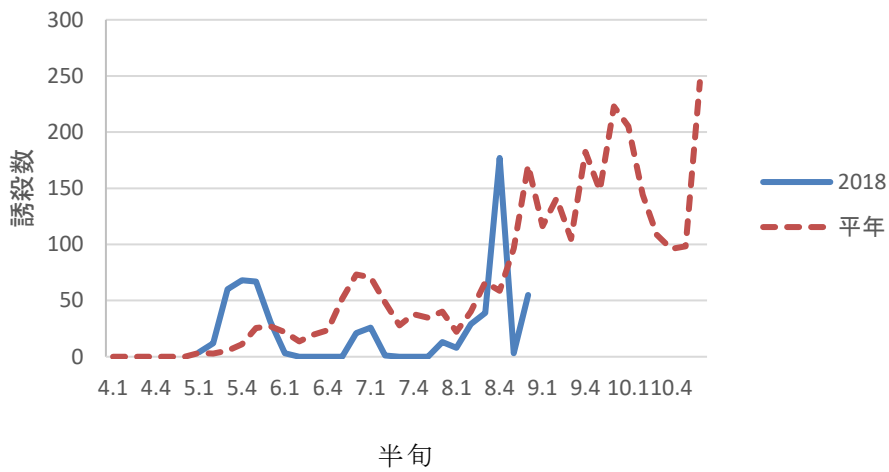
- 1) 薬剤散布は作物とハスモンヨトウに登録のあるものを使用する。
- 2) 薬剤の選定に当たってはミツバチ等訪花昆虫への影響を十分に考慮する。
- 3) 薬剤の使用に当たっては、農薬ラベルに記載の使用方法・注意事項を確認のうえ使用する。また、薬剤散布は周辺作物への飛散に十分注意する。

4. その他

その他の野菜や果樹の一部ほ場でハスモンヨトウの被害が認められている。



第1図 出雲市の性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺消長



第2図 益田市の性フェロモントラップにおけるハスモンヨトウの誘殺消長